

新校舎建設支援プロジェクト概要

- ・ 建設学校名 #904 カリカ初等中学校
- ・ 建設教室数 2 教室の建替え(1 教室の広さ…6m×5m)
- ・ 募集建設支援金 132 万円
- ・ 建設支援金寄附者



カリカ初等中学校 左側の校舎を建替え予定

- ・ 建設支援金寄附者
三郷中央ロータリークラブ (2770 地区)
2006-2007 年度から 2008-2009 年度の 3 年間の「書き損じはがき回収」
による募金をご寄附頂きました。
- ・ 現地の自助努力
無償労働 (80 軒の村人による無償労働奉仕) …約 32,000 円相当予定
資金作り { 行政関係への補助金の申請 } ……金額は未定
 { 有力者への寄付金請願 }
 { その他の活動による資金調達 }
- ・ 新校舎建設場所 老朽化の激しい一棟 (3 教室) を取り壊し、同一場所に 2 教室の新校舎を建設。
- ・ 建設委員会 教職員と村の自治委員を中心のメンバーとして構成。
- ・ 学校概要 創立 1971 年。
校舎は、24 年前、14 年前、3 年前に建てられた計 3 棟。全部で 8 教室。

生徒

学年	1	2	3	4	5	6	7	合計
男子	12	14	11	15	14	12	16	94
女子	13	11	8	16	9	10	14	81
生徒数	25	25	19	31	23	22	30	175 人

教師

教師の種類	男	女	計	合計
政府派遣教師数	3	1	4	6 人
村民雇用教師	1	1	2	

- ・ 学校所在地 ネパール パルパ県 チャパニ郡 パイパ村
- ・ 竣工予定 2011 年 5 月予定 (天候、災害等により遅延の可能性あることをご了承願います。)
- ・ 新校舎引渡式 2011 年 5 月予定です。
- ・ 寄附金控除の対象 当協会への寄附金は確定申告時に寄附金控除の対象になります。

【 日本からカリカ初等中学校へ行くには 】



	移動内容		
1日目	成田空港 11:00 発	→ 飛行機 → 乗換え	香港 → 飛行機 → 21:25 着 (現地時刻) ネパール (カトマンズ) 泊
2日目	カトマンズ 9:00 発	→ 飛行機約 30 分 → 普通車約 4 時間	ポカラ → タンセン、泊
3日目	タンセン	→ ジープ約 40 分 →	カリカ初等中学校



ポカラへの小型飛行機 (30 人乗り)



ポカラで見るヒマラヤの山並み (サランコットの丘にて)

カリカ初等中学校

2009年5月8日

訪問記録



カリカ初等中学校への山道から見えるヒマラヤの山並み

【 カリカ初等中学校 】

2009年5月8日訪問記録



↑
当協会会長

午後2時、学校到着。

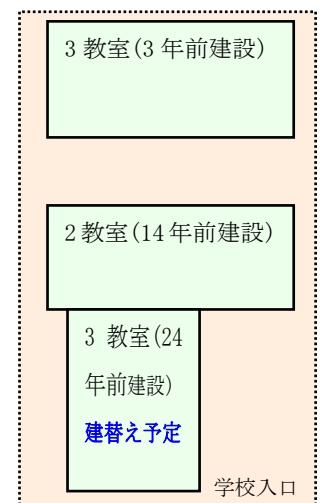
今日は、午後1時下校であったが、私達を歓迎する為に、
たくさんの生徒が残っていてくれた。



タンセンの町からジープで約45分の山の中に建つ学校。

写真手前中央が学校の入り口。校舎は全部で3棟。

左手前の一棟が24年前に建設された一番古い校舎で、建替えを予定している。



校庭内の見取り図



左側が建替え予定の校舎



建替え予定の校舎に入ろうとする当協会会長（左）



建替え予定の老朽化した校舎で勉強する生徒たち。

石を泥で固めた壁は、雨が降るたびに脆くなりヒビが入っていく。

24年前に建てられたこの校舎は、激しい大雨に見舞われれば、いつ崩れてもおかしくないくらいである。



職員室で、教職員から聞き取り調査をする。

歓迎のトピー（帽子）を頭にかぶりメモをとる当協会会長（右）



建替え予定の校舎の屋根の状態を上から調べる。



調査を終え、ジープに戻る。



村人達も見送りに集まって来てくれていた。村人達の新校舎建設への関心は高い。

学校は村の中心的役割を果たすものであり、だからこそ、村人達は、村の為にと無償で建設作業に参加してくれるのである。彼等の協力なしでは、新校舎建設はあり得ない話なのだ。



制服を買えない女の子（カリカ初等中学校の教室で）

入学手続きをしていない子の家庭に、学校は積極的に呼びかけをしている。この為、以前より就学率は高くなっている。しかし、授業料や教科書代は無料であっても、制服や鉛筆は自己負担なので、買えないまま通学している子もよく見かける。



荷運びをする子ども（カリカ初等中学校の村で）

僻地で暮らす子供達には、下校後、家の手伝いとして荷運びや水汲みなど生活する為にやらなければならない仕事がたくさんある。日本の子供とは随分の違いがある。